

SHIN CLUB 196

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「駒沢の家 II」 撮影：アック東京

地域と選挙

写真は、以前、弊社で施工した住宅の敷地に新たに建てられた多世帯住宅です。長年ご家族に愛されてきた庭を活かしたプランを設計した「現代計画研究所」は専用住宅だけでなく、公共の集合住宅や学校などの計画でも実績のある事務所です。「地域」の特性を活かした、そのまちづくりのコンサルティングで、自治体への協力も多いとのこと。今月のフロントラインでは、その「地域」についての話を、代表の今井氏に聞かせていただきました。

「地域」と言えば、6月末、世界中が注目する中、英国のEU離脱のニュースが流れました。国民投票による決定は、大方の下馬評を覆して、離脱派が僅差で残留派を下しました。日本では一時金融市場が混乱しましたが、当の英国でもまだまだ混乱が続くようです。

EUの一員とはいえ、島国で他のEU諸国とは事情が少し異なる上、かつての「大英帝国」の夢を忘れられない高齢者層や低所得者層の不満が爆発したのでしょうか、結果が吉と出るか凶と出るか、いずれにしても自力で頑張る選択をしたのです。その行く末を注意深く見守りたいですね。

英国のEU離脱後、『帰ってきたヒトラー』というドイツ映画を見ました。1945年の第二次大戦終了間際から現代のベルリンへタイムスリップしてきたヒトラーが、もの真似芸人と勘違いされてテレビ番組に出る羽目になっていく物語です。ドキュメンタリータッチの映像、そして主役の俳優のヒトラーそっくりの演技に引き付けられ、初めのうちはコミカルに描かれるドイツの「今」を笑って見ていました。

が、後半になるにつれ、物語のテーマが明らかになっていきます。ヒトラーは「選挙」により民衆に選ばれた代表でした。決して暴力により、その地位についたわけではありませんでした。未来を語り、国の経済を語り、問題を解決しようと語る力がありました。その力は現代においても、力強い魅力です。

人々は、混乱し、問題が複雑になっているときに、強いリーダーを求めます。その時、きちんとした情報を得ているのか、打ち出す政策へのプロセスは正しいのか。最後は笑えない結末です。この映画がヒットしているドイツでは、第二次大戦後、国民投票を行わないことになっています。

さて、日本ではというと、7月10日に「第24回参議院議員選挙」が行われます。今年から選挙権年齢が18歳以上に改められ、若い世代の意見も取り入れられるようになりました。今や65歳以上の高齢者人口は3186万人(平成25年9月15日現在推計)で総人口に占める割合は25.0%となり、人口、割合共に過去最高となりました。政策に対して「高齢者に厚く若い世代には薄い」という声が上がっていることもあり、政府も配慮を見せたところと云えます。

しかし、世界ではすでに90%以上が、選挙年齢が18歳からになっているのです。そのせいもあるのでしょうか、ひ弱な環境で育った日本の18歳、高校生は「childish(幼い)」というのが多くの外国人の印象ではないでしょうか。ただ、バブル世代から見ると、今の若い人たちは、「自分たちの頃よりしっかりしてる」という意見もあります。経済的に苦労している分、地道に自分の生き方を模索しているともいえるかもしれません。要は、自分の意見をきちんとという習慣があるか、ないかの差なのでしょう。

若い世代の方たちにはぜひ選挙に行ってください、その権利を大事に使ってほしいですね。子供だとか、若く見える、ということは決してほめ言葉ではないのですから。

駒沢の家 II

記憶を内在した未来志向住宅



『SHIN CLUB 130 (2011年1月号)』で紹介された、『駒沢の家』の隣地に建つ2世帯の専用住宅である。

『駒沢の家』と合わせた2棟に住む3世帯の家族は、かつてこの地に建っていた情緒ある木造住宅と、それに呼応する四季の変化に富む園庭に長い間慣れ親しみ、生活してきた経緯がある。その空間や時間の軸を崩さずに、建物と外部空間の連なりを創出することが、今回の計画の最大のテーマであった。

南東の芝生園庭を、2棟がL字型に囲み、集約化した配置としている。3世帯のリビングダイニングが共有の庭を臨み、ともに時の変化を楽しむ。

無梁板壁構造により、凹凸のない架構体とし、将来のリフォーム等も容易にできる永住空間としている。

2棟とも、素材感のあるチャコールグレー、およびオフホワイトのボーダータイルを基調に、アルミ材とガラスを鋭利なアクセントとした外観デザインとして、凛とした連なりのある景観としている。

(川上統 / 現代計画研究所)



①「駒沢の家」との景観。左奥が今回建てられた「駒沢の家II」②共有園庭から、「駒沢の家II」を臨む。2棟とも外壁はタイル貼り③1階リビングダイニングには和室を設け、床の間の各部材は、旧邸のものを保存し利用している④玄関は並列して2世帯分設けている

所在地：世田谷区
構造：RC造 規模：地上3階
用途：専用住宅
設計・監理：現代計画研究所
施工担当：瀧澤
竣工：2015年5月 撮影：①②アック東京、③④田中昌

免震装置交換工事

都内某所で免震装置の交換工事を行っています。

2015年春、ある物件で設置していた「東洋ゴム工業株式会社」の免震装置に、大規模なデータ改ざんが行われていたことが報道で明らかになり、お客様に大変ご迷惑をおかけすることになってしまいました。

当初、報道で発表された55物件のうちの一つであったこの建物に対し、メーカーとの折衝で善後策を探っておりましたが、この度、やっと装置の交換工事を行う運びとなりました。

6月20日に区役所の建築課の方々が見学に訪れました。8カ所におかれたジャッキで670トンの建物の荷重を支えて、さらに安全のため8カ所の仮設架台で、実際の地震時にも対応できるようにして、4カ所に設置されていた免震装置を交換しています。

二度とこのようなことが起こらないように、メーカーの社内コンプライアンスの徹底改善、評価機関の検査方法の見直しなど、関係者として強く願うばかりです。



【交換済み部分】(中央の黒い部分) 設置されていた「高減衰積層ゴム(ダンパー型体)」より、交換する装置の高さが低いため、高さ調整用のベースプレートと同材の鋼板を入れて高さ調整を行っています。
※ただし、交換工事完了までは、建物全体を15mmジャッキアップしています。



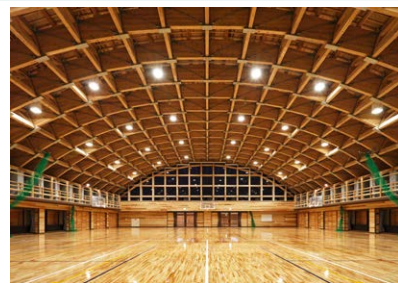
【交換作業中】こちらは、交換する装置の高さが以前のものより高いため、鉄筋を残して免震装置用の基礎を解体し、新たに装置を取り付け直します。基礎のコンクリートの打設前の状態です。

長く愛着の持てる、住宅・建築・まちづくりに取り組む

今井信博／現代計画研究所



今井信博氏
練馬の事務所にて
撮影：アック東京



朽木東小学校・朽木中
学校屋内運動場
(滋賀県高島市)

Nobuhiro Imai

今月は、「駒沢の家Ⅱ」を設計された、現代計画研究所を訪れました。SHINCLUB 130号で登壇いただいた、藤本昌也氏(元建築士会会長)と増山敏夫氏、下山政明氏ら3方が設立された事務所です。環境を読み込んだまちづくり、ニュータウンや団地などの建築計画や再生計画の実績で知られ、木造民家型構法の開発も行うなど、仕事は全国各地にわたっています。

現在、社長を務める今井信博氏にお話を伺いました。

一公共集合住宅の設計を数多く手掛けられていらっしゃいますね。今年で設立何年目になりますか。

今井：44年目になります。設立当時は、オイルショックが起こり、戦後、高度成長路線でひたすら住宅供給が行われてきたことに対して、日本全体で見直す機運が盛り上がっていました。置き去りになっていた地域性を踏まえた個性的な環境づくりを重視し、スタート間もない78年に「茨城県六番池団地及び会神原団地の企画・設計」(『日本建築学会賞・業績部門』受賞)で、風土を活かした空間づくりが評価され、以後20年くらい前まではコンサルも含めた公的な集合住宅や住宅地計画の仕事が中心で、以後民間の仕事、公共のプロポーザル・コンペでの仕事に変わってきました。

一当時の集合住宅を見ていたら、民間に比べてちょっと贅沢かなと思うくらい、敷地や居住空間にゆとりのある物件もみられます。

今井：おっしゃる通り、昭和50年代に建設された公共の集合住宅は、敷地に対し比較的ゆったりとしていて生活しやすく、今もいい物件として残っています。しかしバブルに向かって、次第に都心部の地価や工事費が高騰し、良質で安価な公共住宅が「民業圧迫」という声もあつたりして、国の住宅施策の目標も改められました。また、これまで高度成長期に建てられた物件が老朽化を迎えてきており、計画にあたっては、建てなおしたり修繕したりする前に、その地域の環境の変化、例えば人口減少のため、その場所で住宅建設の必要性がなくなった場合の跡地利用も含めて、厳しく調査・検討することが求められています。

私自身は、入所以来、東京に10年、広島事務所に10年、また東京に戻り、今年で10年目になりますが、高齢化や過疎化が先行する広島で学んだことは大きかったと思います。2000年、広島で手掛けた団地の設計(レイクヒル福富町住宅)では、地場産業である木材産業の活性化も求められました。

実は広島は林業以上に、輸入材中心の「製材業」・「木材加工業」がとても盛んな地域なのです。県の依頼で、地域の林産資源を活かす住宅生産の仕組みづくりの検討を行い、その後、設計者・工務店・材木店の仲間と地域材を用いた家づくりに取り組み、その良さを伝える活動も20年近くになります。

2007年には、滋賀県高島市の朽木東小学校、中学校共用体育館の改築工事にあたり、住民参加による新しい体育館づくりに参加しました。全国から12のチームが応募するプロポーザル・コンペが行われて、当事務所と水原建築設計事務所・山辺構造設計事務所が提案する、地元の杉材を用いた「持ち送り重ねアーチ梁」による屋根の案が採用されました。地域には、中学校が昭和25年から植林、下刈などの管理を行っている「学校林」と、「市有林」があり、地域材を使うことで誰からも愛される体育館を目指しました。アーチを支える柱と雪に埋もれる外壁はコンクリートで、長い冬の積雪にも耐えられるものとし、小学校からのブリッジアプローチや、「サブアリーナ(小体育館)」も設け、小中学校兼用による時間割の重複、体格差の問題なども解消しました。夜間の社会体育にも利用されています。

昨年完成した、兵庫県側の但馬地域の豪雪地帯に建つ村岡小学校の耐震改修と改築では、地元の木材とその加工技術を用いて、校舎を「ふるさと教育の場」として計画しました。全校児童が集まるランチルームを中心とした木造棟は、スギ材の片流れの架構とし、特別教室や幼稚園等も入っています。RC造の既存校舎も木質化して活かした「木の学校」づくりは、世代を超えて受け継ぐ、食育、木育の場となり、木を使ったサイン製作などで児童も建設に参加しました。

こういった実績もあってか、最近では木造建築づくりの技術的支援や、まちづくりなど「建築で新たな環境を作る」、「今あるものを活かしながら、将来へ向けてその場所に必要な建築の仕組みづくりを行う」といったコンサルティング業務も増えています。また、木造建築の担い手の人材育成の観点や建設業界の若手人材の育成にかかわる仕組みやテキストの作成など、国交省や業界団体からの要請にも応えています。

時間はかかりますが、「地域や場所ごとの特性とプロセスを大事にする」当事務所のスタンスは、これからは変わらない必要な姿勢だと思います。一日はどうぞありがとうございました。

「今あるものを活かした建築が 新たな環境をつくります」

現代計画研究所

1972年 藤本昌也、増山敏夫、下山政明ら大高正人建築設計事務所のOB、3人が設立。今年で44年を迎える。2016年現在 所員：16名
東京本店、広島支店

取締役会長 藤本昌也
代表取締役社長 今井信博
<http://gkk-tokyo.com/>



①事務所のスタッフの皆さん。この日は半分が外出。20代から60代まで幅広い年齢層②香美町立村岡小学校・村岡幼稚園(兵庫県)中庭から普通教室棟、体育館を臨む。バルコニーに付加した柱は地元のヒノキ(6m)を使用③教室と廊下のたまり場となる空間を木で創出。壁は杉、床はヒノキの無垢板を使用④特別教室・幼稚園棟のランチルーム。まきストーブも設置



「(仮称) 銀座7丁目ホテルプロジェクト工事」 現場見学会 6月4日

～現場講義：清水建設東京支店建築第3部 榎田真一氏～

弊社グループ会社「ユニホー」が発注している、「(仮称) 銀座7丁目ホテル」がいよいよ仕上げ工事に入ってきました。施工の清水建設東京支店様のご好意により社内見学会が開かれました。

以前、仮設計画の勉強会で講師としてお世話になった建築第3部榎田真一氏に、今回も工事のポイントを説明いただきました。現場事務所で講義の一部をご紹介します。

榎田：建物は、1階に駐車場とコンビニが入ります。2階はホテルカウンターとレストランが入り、3-13階が客室で、プランは各階とも同じです。ご存知の通り、銀座は非常に地価が高く、敷地ぎりぎり建物計画されています。また一方通行が多いので、資材搬入には神経を払わなくてはなりません。実は銀座は非常に地中障害が多い所な

のです。近くには9ヶ月も工期の遅れが出ている他社の現場もあり、その理由が全て地中障害です。幸い、うちは地下がありませんでしたから、同規模の現場の標準工期より2か月余裕をみただけで済みました。残り約2か月で、工事を終える予定です。

うちは、現場に施工図工を置かないルールのため本社で図面を作成しています。設計施工のときは、基本的に3Dデータをそれぞれ業者に渡して収まりの確認をします。大量にあるので基本的に我々が現場で行っているのは手順の確認です。

また私自身は、大手ゼネコンさんや協力業者の方とBIMの推進活動を行っています。清水は取り組みが早いほうですね。

会社のリクルーティングも担当しています。

業界にものすごく興味のある学生もいますが、現場に対して『汚い、危ない』という不安もあるようです。どんどんモノづくりの面白さを伝えていきたいですね。皆さんも、どうぞこの後も見学に来てください。同じ業界で仕事をされている方は仲間ですから。一緒に業界を盛り上げていきましょう。

—最後は、力強くまとめていただきました。

総合監修：レーモンド設計事務所
設計：清水建設一級建築士事務所
施工：清水建設東京支店建築第3部
工期：2015年3月～2016年8月末
建物用途：ホテル、飲食店舗、駐車場
構造：S造
建物高さ：46.53m
階数：地上13階



参加者30名以上となり、2チームに分かれて見学。なごやかな雰囲気の中で質疑応答が行われた



前回(186号で紹介)の社内勉強会時と同様、わかりやすい語り口で説明して下さった榎田氏



現場前で集合写真。昭和通りと銀座通りの間で裏通りとはいえ、車が頻繁に行きかうところである

「中野3丁目HOUSEプロジェクト」 地鎮祭 2016年6月3日



青空の下、中野駅近くのプロジェクトのお清めが行われました。

構造：RC造
規模：地上3階
用途：専用住宅
設計・監理：一建築士事務所
タカギプランニングオフィス
完成予定：2016年11月

「Peak Cottage 新築工事」 地鎮祭 2016年6月24日



北品川の自然に囲まれた敷地に、高低差を活かした住宅が建ち上がります。

構造：RC+W造
規模：地上3階、地下1階
用途：専用住宅
設計・監理：architectureWORKSHOP
完成予定：2017年5月

「安全講演会『平成28年全国安全週間にあたり』」 2016年6月15日

商工会館にて、弊社主催の安全講演会を行いました。当社主催で行う初めての会です。

渋谷労働基準監督署の宮崎正行署長をお迎えし、標題の件についてお話しいただきました。

当日は、協会会員85名、辰社員30名が出席し、現場の安全について、改めて共通意識を持つ機会となりました。



「7月全体会議講演『反社会的勢力について』」 2016年7月3日



全国暴力追放運動推進センター 中崎和博 暴排部長

反社会的勢力、いわゆる「暴力団」の活動は凶悪化、不透明化が進んでいます。昔は「脅し」が主流だった「シノギ」と呼ばれる資金稼ぎも、今は「詐欺」がもっとも多く、最初の対応を間違えれば被害に遭うことも少なくないようです。「利用しない、恐れない、金を出さない、交際しない」という基本を踏まえ、「おかしい」と思ったら、まず警察や弁護士に相談を。暴追センターの中崎和博暴排部長、渋谷警察署の落合氏にお話を伺いました。

編集後記

・この夏の水不足が既に深刻な状況です。6月16日から利根川水系のダムでは一部取水制限が行われています。熱中症に注意しつつ、節水に心掛けたいですね。

(株)辰通信 Vol.196 発行日 2016年7月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450
E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp

「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーも掲載しています。
http://www.esna.co.jp/shinclub
スマホはこちらから →

